

編 集 後 記

第7巻第2号がやっとでき上りましたのでお届けいたします。第1号より若干薄くなりましたが、第7巻は総頁316頁となり、後に記しますようにこれは1巻分としては初めて300頁を超え今までの最高です。

来年はいよいよ本学は創立10周年を迎えることになります。本学会も8年目に入り、機関誌の“松本歯学”も第8巻になります。そこでちょっと振りかえてみたいと思います。第7巻までの各号の頁数、各巻の総頁数は次のようになります。

第1巻第1,2号	74頁	—	74頁		
第2巻第1号	86頁			} 総185頁	} 合本437頁
〃 第2号	99頁				
第3巻第1号	96頁			} 総178頁	} 合本446頁
〃 第2号	82頁				
第4巻第1号	96頁			} 総186頁	} 合本446頁
〃 第2号	90頁				
第5巻第1号	118頁			} 総260頁	} 合本584頁
〃 第2号	142頁				
第6巻第1号	144頁			} 総268頁	} 合本584頁
〃 第2号	124頁				
第7巻第1号	172頁			} 総316頁	
〃 第2号	144頁				

合冊製本に利用して戴くため総目次は第1～3巻分をまとめて第3巻第2号に、第4～5巻分は第5巻第2号に付けてあります。これら合本2冊の総頁は上表の右端に記しましたようにそれぞれ437頁、446頁ではほぼ同じ厚さでしたが、第6～7巻は総頁が584頁になり、この3冊目は前2冊よりもかなり厚くなりました。その総目次が付録として本号の最後に付いていますのでご利用下さい。総頁が400頁を超えていれば製本するにもバランスがとれるので、第8巻は単独で製本できるようになることを大いに期待いたします。従ってもし400頁を超えるならば、第8巻第2号に総目次を付けることにいたします。もちろん1巻分の総目次は初めてのことになります。こんなことも編集子の夢の1つなのです。

最近の号は臨床報告が少ないようです。第8巻第1号の原稿締切りは昭和57年4月末日になっております。臨床報告の原稿の方もよろしくお願い致します。(枝 重夫)

松 本 歯 学 第7巻 第2号 (非売品)

1981年12月25日 印刷 1981年12月31日 発行

編集兼発行者 加 藤 倉 三

発 行 所 松本歯科大学学会

399-07 塩尻市広丘郷原1780 電話 02635-2-3100

印 刷 所 電算印刷株式会社

390 松本市筑摩3270 電話 0263-25-4329